

先生たちも学び続けています パート2

前回の小中合同研修会に引き続いて、6月19日（水）に第1回の校内研修会を開催しました。本校職員を講師とした「ユニバーサルデザインに基づいた授業改善」の講義・演習のあと、本校の実態を踏まえた「特別支援教育の視点に基づいた学習指導の在り方を協議（熟議）しました。

この協議を通じて、すべての教科における授業改善に向けて基盤となる見方・考え方を共通認識し、対話的で深い教師同士の学び合いにより、「学びの変革」＝「授業の変革」に向けた本校における共通したスモールステップでの取組を導き出し、今後の授業実践の中で検証しながら研究を進めていきます。

1 阿品台中学校の今後の授業改善に向けた方向性

◎授業を大切に！ 授業前の準備・整理整頓の徹底を！

時間を守る、学習前の机上整理、授業準備などの環境づくりをまず第一に！

◎「授業の流れ」テンポ・スピード・リズムの確立を！

授業の「めあて」から週末の「まとめ・振り返り」までのつながりを大切に！

◎「基礎力から応用力へ」

1時間に1回程度ペア学習・グループ学習を行う。ペア学習で全員身につける基礎力をつけ、グループ学習で協働的に深い学びへの段階を大切に！

2 廿日市市教育委員会が示す特別支援教育の視点に基づく学習指導の考え方

廿日市市教育委員会の「令和元年度 廿日市市学校教育の取組」等には、次のように特別支援教育の視点が示されています。研修では、廿日市市教育委員会学校教育課 齊藤指導主事から指導助言をいただきました。

特別支援教育の視点に基づいた学習指導と生徒指導

○適切にアセスメントする力と対応力の向上

○ユニバーサルデザインの考え方を生かした教育活動

○家庭や関係機関との丁寧な連携

○特別支援教育の視点に基づいた学習指導と生徒指導

特別支援教育の視点に基づくとは、つまり「出来ないことを子どものせいにしない。」という立場に立つことです。なぜ出来ないのか、どうやったら出来るようになるのかを考え、指導・支援していくのが我々教師の大きな役目です。そこで・・・

①適切にアセスメントする力と対応力の向上を目指しましょう！

・できない、やろうとしないその背景にある要因を把握し、個に応じた指導・支援を行う。

②ユニバーサルデザインの考え方を生かした教育活動を展開しましょう！

・時間の構造化 ・情報伝達の工夫 ・参加の促進 ・内容の構造化

③家庭や関係機関と丁寧に連携しましょう！

・「切れ目のない指導・支援」のために、情報をしっかり共有する。

